**第３回基幹病院等連携強化実行会議（Ｈ29.6.9）議論の結果**

**議題１　これまでの議論について**

○　平成28年度に開催した第１回，第２回基幹病院等連携強化実行会議において検討した議題及び各メンバーのご意見を再確認した。

**議題２　難治性・希少性疾患の集約について**

○　平成28年度に集約された疾患及び集約先について確認し，これらの広報の状況を報告した。

　　また，当該疾患について，直近半年間の４基幹病院等における治療実績を照会し，集約の進捗状況を次回以降の基幹病院等連携強化実行会議で確認していくこととした。

○　集約疾患の拡充のため，平成29年度においても引き続き対象とする疾患及び集約先の検討・選定を行っていくことを確認した。

**議題３　循環器医療体制検討ＷＧの状況について**

○　５月に開催した第１回循環器医療体制検討ＷＧについて報告を行った。

○　各メンバーからの意見として，以下の発言があった。

　・　国（厚生労働省）において同様の検討会が設置されているので，こちらの状況についても注視しながら検討を進めていく必要がある。

　・　特に急性期の関係でいうと，民間病院との役割分担や，その後の維持にも配慮した検討が必要ではないか。

　・　患者に対し，より実効性のある救急医療がきっちり提供できる体制の構築が必要ではないか。

**議題４　小児医療体制検討ＷＧの状況について**

　○　今年度，経営も含めた様々な観点からのシミュレーションや，効率化することによる経営上の影響を整理しながら，ＷＧを進めていくことを報告した。

　○　加えて，小児医療と密接な関係にある周産期部門についても，ＷＧを新たに設置し，小児医療と一体的に検討していくことを報告した。

　○　各メンバーからの意見として，以下の発言があった。

　　・　小児科医のモチベーション維持の方策についても考えていく必要があるのではないか。

　　・　現状のままだと小児医療体制は低下していくので，将来どうしていくのかを考える必要があり，その中で医師のモチベーションについても考えていく必要がある。

　　・　検討に当たっては，医師の育成の面から，研修についても加味する必要がある。